

会 議 録

会議の名称		令和5年度 第1回 春日部市地域福祉計画審議会	
開催日時		開 会	午後1時30分
		閉 会	午後2時35分
開催場所		春日部市役所 別館5階 503会議室	
議長(会長等)氏名		小川 孔美	
出席者	委員氏名	(出席人数：11人)	
		岩谷 幸江、上田 みどり、榎本 良子、小川 孔美、関根 修子、	
		園田 俊博、中村 高子、中村 靖史、古川 泰之、柳橋 春子、 益子 美智子	
出席者	説明者 その他	(出席人数：1人)	
		福祉総務課福祉総務担当主査 伊林 圭	
出席者	事務局	(出席人数：5人)	
		福祉部長 戸張 昌代 福祉部次長兼福祉総務課長 折原 武志 福祉総務課福祉総務担当主幹 佐藤 大輔 福祉総務課福祉総務担当主査 伊林 圭 福祉総務課福祉総務担当主事 齊藤 孝樹	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 諮問 5 会長あいさつ 6 議事 (1) 令和4年度春日部市地域福祉計画総合評価シートについて (2) 第2期春日部市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査結果報告書について 7 その他 今後のスケジュールについて 8 閉会	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	

配布資料	次第 令和5年度 第1回 春日部市地域福祉計画審議会 春日部市地域福祉計画審議会会員名簿 資料1 春日部市地域福祉計画 令和4年度 事業別目標シート 資料2 事業別目標シートの評価方法について 資料3 総合評価シートの計算方法について 資料4 令和4年度 春日部市地域福祉計画 総合評価シート 資料5 令和4年度 春日部市地域福祉計画 総合評価シート【公表用】 資料6 第2期春日部市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査結果報告書 資料7 令和5年度 春日部市地域福祉計画審議会 開催スケジュール 資料8 次期計画構成案等
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録署名の指定	議長による指名
発言者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1 開会】
事務局	【2 委嘱状交付】
市長	【3 市長挨拶】
市長	【4 諮問】
会長	【5 会長挨拶】
事務局	【6 議事】
	(1) 令和4年度春日部市地域福祉計画総合評価シートについて
議長	事務局より説明をお願いします。
事務局	≪ (1) 令和4年度春日部市地域福祉計画総合評価シートについて説明 ≫
議長	ただ今の説明につきまして、委員の皆様からご質問等がありますか。
委員	事業計画を策定するにあたって、達成率は100%であるべきと考える。コロナ等の影響を受け推進できない事業もあったことは理解しているが、令和4年度の総合評価シートのC・D評価が全体の20%と高い数値となっている原因はどのように考えているか。個人的に容認できる達成率はA・Bまでと考える。
事務局	コロナの影響を受けている事業もあるが、令和4年度の調査はコロナの影響が終息し始めている時に行っている。C・D評価の事業も改善しつつあるため、期間完了までの間に100%に近づくよう努める。

委員	評価結果ではC・D評価に最も重視すべきと考える。しかし達成度をポイント化することにより実質A～Cの3段階評価となっておりD評価が落とされているように感じる。評価方法の見直しが必要ではないか。
事務局	コロナの影響から実施が0という事業もあり、そのような事業はD評価となっているため、今後達成に向け努める。例として、「市営住宅のバリアフリー化と優遇入居の実施」等の事業では、バリアフリー対象となる空き家がなかったため、改修の実績値が0となっている。例のように要望・対象がなく実績0の事業もあるため、D評価の評価方法の見直しを検討し、市民の意向に沿った事業を行えるようにしていきたい。
委員	D評価があってもポイント化でまとめることにより、D評価が消えてしまっただけでは意味がない。A～B評価よりもD評価について検討し改善する方が重要である。進んでいない事業をD評価として入れても意味がない。なぜD評価になったのかという点に注目した方がよいのではないか。
事務局	今後に向けて、検討する。
会長	議事(1)令和4年度春日部市地域福祉計画総合評価シートの内容について承認し、市の公表データとすることを決定してよいか。(委員から異議なし) 審議会として決定する。
	(2) 第2期春日部市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査結果報告書について
議長	事務局より説明をお願いします。
事務局	《委員より、前回の説明の再説明を求められた為、補足説明を含め説明》
委員	アンケート調査から課題が見えてきているため、今後はさらにより具体的な策定方針案を検討していけるのではないか。
委員	福祉関係団体のアンケートが回収率が低いと思う。回収率を上げるため、行政として働きかけることはできないか。
事務局	アンケートなので強制することは難しいが、日頃から団体とつながりを

委員	<p>深め、アンケート調査時に協力をお願いする形を取っている。</p> <p>団体の方達は多忙なため、単に配布するだけでは回答してもらえないのではないか。アンケート調査に協力してくれる方に回答をお願いをして配布すると回収率は100%となるのではないか。</p>
事務局	<p>頂いたご意見は、次回以降、アンケートを実施する際に参考とさせていただきます。</p>
会長	<p>議事(2)第2期春日部市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査結果報告書について承認し、市の公表データとして決定。内容について承認し、市の公表データとすることを決定してよいか。</p> <p>(委員から異議なし→) 審議会として決定する。</p>
会長	<p>アンケート結果報告書の14ページにある「地域福祉の現状についてどのように思うか」という設問に対し、「わからない」が44%となっている。この結果が今後2～3割となるよう人材作りに力を入れ、地域福祉に意識を向けてもらえるよう計画を策定できれば良いと考える。</p>

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和5年 7月 24日

署名者の職・氏名 埼玉県立大学 小川 孔美